

令和8年度

専攻科学生募集要項（第二次募集）



第二次募集による 選抜	出願書類受付期間	令和7年10月16日(木)～令和7年10月23日(木)
	選抜期日	令和7年11月1日(土)
	選抜結果発表	令和7年11月6日(木)

- ※ 出願書類を持参する場合の受付時間は、出願書類受付期間中（ただし、土曜日、日曜日及び祝日を除く）の午前9時から午後4時までとします。郵送する場合、最終日の午後5時必着とします。
- ※ 新型コロナウイルス感染症等の感染症に罹患し、または月経随伴症状等の体調不良により選抜期日に受験できない受験生がいる場合等には、追試験を実施します。
- ※ 「第二次募集による選抜」において追試験を希望する場合には、選抜期日の午前9時までに学生課に申し出てください。

独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校

〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島77
電話 0738-29-8241, 8242（学生課）
FAX 0738-29-8254（学生課）
ホームページアドレス
<https://www.wakayama-nct.ac.jp>
入学試験メールアドレス
nyushi@wakayama-nct.ac.jp

令和8年度和歌山工業高等専門学校専攻科学生募集要項(第二次募集)

1. 募集する専攻及び入学定員

専攻	入学定員・募集人数
エコシステム工学専攻	8名・若干名

2. 選抜方法

入学者の選抜は、次のとおり実施します。（詳細はP.5 参照）

選抜区分	選抜期日	選抜人数
第二次募集による選抜	令和7年11月 1日（土）	若干名

3. 出願に関する注意事項

- (1) 出願書類の記入は、黒ボールペンを使用してください。
- (2) 出願書類を郵送する場合は、必ず速達・書留郵便で提出してください。
- (3) 出願書類等に不備がある場合は、受け付けません。
- (4) 出願書類提出後の変更は、認めません。
- (5) 受理した出願書類は、返還できません。
- (6) 振込済の入学検定料について

振込済の入学検定料については、入学検定料を振り込んだが本校に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

入学検定料を振り込んだが本校に出願しなかった（出願書類などを提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合は、以下により入学検定料の返還手続きを行ってください。

「検定料返還請求書」（様式は問わない）を作成し、①氏名（押印）、②現住所、③連絡先（電話番号等）、④振込口座（銀行・支店・預金の種別・番号・名義カタカナで）を明記し、「払込受付証明書」及び「口座番号を含め、振込先が確認できるもの（コピー）」を添付の上、次の送付先に速やかに郵送してください。

（返還には、「検定料返還請求書」を受理後、2ヶ月程度の期間を要します。）

※ 独立行政法人等個人情報保護法により、ご提出いただきました確認書は検定料返還業務以外には使用いたしません。

送付先 〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島 77 和歌山工業高等専門学校総務課財務企画係 宛

4. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

和歌山工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、**早め**に和歌山高専学生課までご相談ください。なお、直前の相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要

となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)高等専門学校、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。）の専攻科等の本校入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課入試担当までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、学生課入試担当において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

5. 志願者等の個人情報の取扱い

- （１） 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
 - ①入学後の教育・指導
 - ②入学料、授業料の免除申請の審査
 - ③奨学金申請の審査
 - ④本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査研究
 - （２） 本校合格者についての氏名、住所、電話番号に限り、本校の学生の保護者からなる団体である後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。
 - （３） 本校合格者についての氏名、住所、電話番号に限り、本校の卒業生等からなる団体である同窓会からの連絡を行うために利用する場合があります。
- 注）後援会、同窓会からの連絡を希望しない場合は、本校学生課（入試担当）にその旨申し出てください。

6. その他募集要項に関して

募集要項等に関し不明な点は、右記まで照会してください。

〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島77
和歌山工業高等専門学校 学生課（入試担当）
電話 0738-29-8241, 8242
ホームページアドレス
<https://www.wakayama-nct.ac.jp>
入学試験メールアドレス
nyushi@wakayama-nct.ac.jp

第二次募集による選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。なお、(8)で出願しようとする場合は、事前に学生課（入試担当）へ問い合わせてください。

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者及び令和8年3月修了見込み者のうち学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる者
- (3) 短期大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により、大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者
- (8) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【本校を卒業見込みの者以外の者に対する留意事項】

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定（特例認定）」の適用を受けられるかの確認をする必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の学位申請になる場合があります。

また、本校の教育プログラムでの学習に適するかを判定する必要がありますので、出願しようとする者は、入学願書受付開始日までに本校学生課（入試担当）に照会してください。

2. 出願手続

- (1) 出願書類受付

出願書類受付期間	令和7年10月16日（木）から令和7年10月23日（木）まで 郵送の場合、令和7年10月23日（木）午後5時必着のこと
出願書類受付時間	午前9時から午後4時まで
場 所	〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島77 和歌山工業高等専門学校 学生課（入試担当） 電話 0738-29-8241, 8242

(2) 出願書類等

入 学 願 書 (第二次募集)	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの。
写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付したもの（写真は出願前3ヶ月以内に撮影し、上半身、脱帽、正面向き、大きさ縦5cm ×横4cm で、裏面に氏名（ふりがな）を記入したもの）。
受 験 票	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの。
払込証明書提出票	金融機関において本校が指定する口座※に、入学検定料 16,500 円を振り込み、「払込取扱票」または「振込依頼書」等の振り込みを行った伝票の控えを貼付してください。
調 査 書	本校所定の様式を使用して学校長が作成し、成績・修得単位証明書（出身校所定の様式に、学校長又は学長が作成したもの）を添付の上、厳封したもの。ただし、高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の成績証明書を併せて提出してください。 なお、出願資格（2）により出願する者は、次の証明書を併せて提出してください。 ① 高等学校等が発行する、大学への編入学が可能であることを証明する証明書 また、出願資格（4）により出願する者は、次の証明書を併せて提出してください。 ① 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 ② 専修学校の専門課程における学科の分野や履修内容が確認できる書類 また、出願資格（5）（6）（7）により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の卒業（修了）証明書及び成績証明書
T O E I C スコア報告書	本校所定の様式に、入学試験実施日を基準に2年以内に取得した最高スコアを記入し、裏面に「公式認定証」または「個人成績表」のコピーを貼付してください。 ※なお、入学試験当日に TOEIC の「公式認定証」または「個人成績表」の原本（コピーでなく本証）を提示してください。（確認のうえ返却します。）
受 験 票 送 付 用 封 筒	受験票の送付用です。長形3号（120mm×235mm）の封筒に、郵便番号、住所、氏名を記入し、必ず 410 円（速達料金）分の切手を貼付してください。なお、願書を持参する場合は不要です。
そ の 他	現に日本国内に在住する外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を添付すること。

※入学検定料振込先口座

紀陽銀行 御坊支店
(0163 614)

預金種目) 普通預金

口座番号) 1144609

口座名義) ドク) コクリツコウトウセンモンガッコウキコウホンブ

3. 選抜方法

- (1) 調査書（内申）（50点満点）、面接（40点満点）、TOEIC（10点満点）の合計を総得点（100点満点）とし、総得点上位者から選考します。ただし、面接点が20点以下もしくは総得点が70点以下の者は、不合格とします。

また、TOEICについては、出願時のTOEICスコア報告書（入学試験実施日を基準に、2年以内に受験したもの。）の取得スコアを60で割った値（小数第1位四捨五入、ただし最高点10点とする）を得点とします。

(2) 面接の日時

期 日	科 目 等	時 間
令和7年11月 1日（土）	面 接	9：20～

※9時00分までに集合してください。

遅刻限度は、公共交通機関の遅延等やむを得ない場合を除き、9時20分までとします。

集合受付場所は、和歌山工業高等専門学校メディアセンター棟玄関ホールです。

(3) 面接の実施場所

和歌山工業高等専門学校（和歌山県御坊市名田町野島77）

4. 受験上の注意事項

- (1) 受験者の持参品は、受験票、筆記用具及び本校で指定するもの。
(2) 受験案内は、WEB出願時に登録いただいたメールアドレス宛に送付します。

5. 合格者の発表

- (1) 選抜の結果は、令和7年11月6日（木）午前10時に合格者の受験番号を本校ホームページで公開するとともに、合格者には「合格通知書」を交付（郵送）します。
(2) 電話による合否の問い合わせには応じませんので、ご了承ください。

6. 入学についての回答書の提出

- (1) 合格通知を受けた者は、「入学についての回答書」を令和7年11月14日（金）（必着）までに、和歌山工業高等専門学校学生課（入試担当）へ提出してください。
(2) 期限までに回答書を提出しない者は、本校に入学の意思がない者として取扱います。

7. 入学手続

入学手続、入学に必要な書類、経費等については「入学についての回答書」の提出のあった者に対して、3月上旬に通知します。

専攻科入学案内

1. 専攻科の目的

和歌山工業高等専門学校専攻科は、高等専門学校を卒業した者、または、これと同等以上の学力があると認められる者に対して、さらに深く、幅広く教育研究を行う2年制の課程として、設置されています。

本校専攻科では、

- ① 持続可能な社会の形成に活かせる創造力
- ② 多面的に問題を発見し、解決する能力
- ③ 豊かな人間性と国際性

を備えた人材育成を目的としています。

2. 専攻科のアドミッションポリシー（入学者受入れ方針）

本校専攻科では、次のような適性と能力を持った人を、推薦による選抜においては調査書、志望理由書、推薦書及び該当者のみ面接、学力による選抜においては学力検査、TOEIC スコア報告書、調査書、志望理由書、該当者のみ面接、社会人特別選抜においては成績証明書及び志望理由書、面接により確認し、受け入れます。

- ① 幅広い専門性や論理性を身に付けた技術者として、持続可能な社会の形成に貢献したい人
- ② 自主的・継続的に学習や研究に取り組み、自己の向上を目指したい人
- ③ 技術者教育を受けるために必要な専門基礎や英語などについての基礎能力を持っている人
- ④ 企業において、技術者としての基礎能力を有し、更に自己の能力を伸ばしたいと考える人

※④については、社会人特別選抜の受験者が対象。

3. 各専攻の教育方針と内容

（1）メカトロニクス工学専攻

高等専門学校等の機械工学及び電気・情報工学系学科において修得した専門科目を基礎として、更にそれらをより専門的に系統化・融合化させたカリキュラムを学ぶことによってメカトロニクスに関する研究開発能力に優れた技術者の育成を目的とします。このため、計測制御工学、パワーエレクトロニクス特論、ロボット工学等の専門科目を開設しています。メカトロニクス設備の高性能化に対応するため、材料科学や精密加工学、熱流体工学の科目を設け、更に創造プログラミングや応用デジタル回路等実験実習科目も開設しています。

（2）エコシステム工学専攻

高等専門学校等の生物応用化学及び環境都市工学系学科で修得した基礎学力と技術を基盤として、環境の保全及び改善を考慮しながら発展的に工業生産及び社会基盤の形成に貢献できる人材育成を目的としています。このため、生物応用化学及び環境都市工学系学科で修得した内容を更に深める科目として、反応有機化学、有機機能材料、遺伝子細胞工学、生体高分子、応用地盤工学、応用材料工学、建設設計工学等を開設しています。また、環境について科学的な理解と思考を促すための科目として、物質と環境の係わりを扱う環境化学工学、遺伝子細胞工学、水圏工学、そして社会基盤の形成と環境の係わりを扱う社会基盤計画学、環境マネジメント、地域環境工学を開設しています。

4. 「地域環境デザイン工学」教育プログラム及び学習・教育目標

本校では、本科4学年から専攻科修了までの4年間、一貫した一つの教育プログラムとして「地域環境デザイン工学」教育プログラムを設定しています。

同教育プログラムは、「ものづくり」をする上で不可欠な専門技術に関する深い学問的知識を身につけ、地域の自然や社会に配慮した新技術の開発に取り組むことができ、また、国際社会との共生にも対応できる技術者を育成することを目的としています。

専攻科入学者は全員同教育プログラムの履修者となります。

本校に入学した学生が専攻科の教育課程を修了し、学士の学位を取得することにより、同教育プログラムの修了者となります。

なお、本校本科以外の他高専等から専攻科に入学した場合も、単位の認定により同教育プログラムの修了者となります。

「地域環境デザイン工学」教育プログラムとして、次の(A)～(D)の学習・教育目標を掲げています。

- (A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。
- (B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。
- (C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。
 - (C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。
 - (C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。
 - (C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。
- (D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。

5. 入学定員

メカトロニクス工学専攻 8名

エコシステム工学専攻 8名

6. 修業年限及び修了要件

修業年限 2年

修了要件 62単位以上を修得及び本校で別に定める修了要件を満たしている者

7. 専攻科の教育課程及び必要な単位

専攻科の教育課程は、「一般科目」「専門共通科目」「専門専攻科目」で構成されています。各専攻における開設科目及び学年別配当単位数は、別表の各専攻教育課程表を参照してください。

8. 学士の学位取得

本校の専攻科は、修了により学士（工学）の学位を独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から取得できるよう、同機構の特例の適用認定を受けたので、原則として当科修了をもって、大学改革支援・学位授与機構から学位が授与されます。（学位規則第6条第1項の規程に基づく学士の学位の授与に係る特例に関する規則による。）なお、他の高等専門学校等から本校専攻科に入学された場合等は、本科卒業前の課程で修得した科目の単位に関して学位授与機構における審査があります。

9. 入学時に必要な経費

- | | | |
|-----------|----------|-------------------|
| (1) 入 学 料 | 84,600円 | 入学手続き時に納入 |
| (2) 授 業 料 | 234,600円 | 年2回（5月・10月）に分けて納入 |
| (3) 教科書代等 | 約30,000円 | |

※在籍中に授業料改訂が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

10. 入学料・授業料の免除及び奨学金制度について

入学料、授業料の免除及び奨学金制度は、以下のような制度があります。詳細は担当係まで問い合わせてください。

- 国立高等専門学校機構の制度による入学料・授業料免除
- 日本学生支援機構高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料の減免
- 日本学生支援機構貸与奨学金
- その他の奨学制度

（奨学金等担当係） 学生課学生係 電話 0738-29-8244

11. 学生寮（柑紀寮）

自宅通学が困難等の理由により、入寮を希望する学生には、合格後、入寮希望申請の書類を提出していただき、選考の上、学生寮に入ることができます。（入寮希望の申請は、11月に行います。また、入寮期間は1年間で、毎年、選考を行います。）

- | | | |
|----------------|----------|------------------|
| (1) 寄 宿 料（月額） | 800円 | |
| (2) 給 食 費（ 〃 ） | 約25,000円 | （営業日数等により変動します。） |
| (3) 寮生負担金（ 〃 ） | 12,500円 | 共益費（光熱水料等） |
| (4) 寮生会費（年額） | 1,440円 | 年2回に分けて納入 |

（経費は令和7年4月時点）

(参考) 令和7年度 入学者の教育課程表

メカトロニクス工学専攻

区 分	授 業 科 目	単位数	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	備 考	
一般科目	○英語Ⅰ	2	2					
	○英語Ⅱ	2		2				
	現代アジア論	2			2			
	ビジネスコミュニケーション	2	2					
	テクニカルライティング	2			2			
	○技術者倫理	2				2		
	一般科目 開設単位数	12	4	2	4	2		
	一般科目 修得単位	6単位以上						
	数理統計学	2	2					
	数理工学	2	2					
専門共通科目	線形代数	2	2				必修科目は、 一般科目から6 単位、専門科 目から22単位 の合計28単位 修得すること。	
	数値計算・解析法	2		2				
	現代物理学	2	2					
	情報理論	2		2				
	センサー工学	2		2				
	応用エネルギー工学	2		2				
	環境化学工学	2	2					
	環境マネジメント	2				2		
	専門共通科目 開設単位数	20	10	8	0	2		
	専門共通科目 修得単位	12単位以上						
専門科目	○工学特別ゼミナール	4	2		2		選択科目は、 一般科目と専 門科目から34 単位以上修得 すること。た だし、専門共通 科目から12単 位以上、専門専 攻科目から14 単位以上修得 すること。	
	○工学特別実験	4	2	2				
	○特別研究Ⅰ	4	2	2				
	○特別研究Ⅱ	10			4	6		
	計測制御工学	2		2				
	パワーエレクトロニクス特論	2		2				
	ロボット工学	2			2			
	材料科学	2	2					
	電気電子工学特論	2			2			
	精密加工工学	2		2				

専攻科入学願書（第二次募集）

志 望 専 攻 名	専攻	受験番号	※
ふ り が な			男 ・ 女
氏 名			
生 年 月 日	平成 年 月 日生		
現 住 所	〒		
	TEL () ー E-mail :		
出 願 資 格	高等専門学校		学科
	短期大学		科
	専修学校		科
	(令和 年 月 日卒業・卒業見込・修了・修了見込)		
	所在地 〒		
	TEL () ー		
中学校卒業後の 学歴及び職歴	年 月		中学校卒業
	自 年 月		入学
	至 年 月		卒業 卒業見込
	自 年 月		
	至 年 月		
	自 年 月		
	至 年 月		
	自 年 月		
	至 年 月		
勤 務 先 名 (所 在 地)	〒 TEL () ー		
合 格 通 知 等 の 郵 送 先	〒 TEL () ー		

- 記入上の注意
- 1 ※印欄は記入しないこと。
 - 2 正確かつ明瞭に楷書で黒ボールペンで書くこと。
 - 3 勤務先(所在地)欄は、現在就職している者のみ記入すること（所属部課まで記入）。

令和8年度
和歌山工業高等学校

写真票

試験名	専攻科入試 第二次募集による選抜
志望専攻名	工学専攻
ふりがな	
氏名	
※受験番号	

写真貼付欄

・写真は、正面、上半身、脱帽。（縦4cm×横3cm）

・出願3ヶ月以内に撮影したもの。

・写真の裏面に氏名を記入する。

・全体にのりづけする。

本票は、他の出願書類と共に、本校へ持参または郵送してください。

※印欄は記入しないこと。

令和8年度
和歌山工業高等学校

受験票

試験名	専攻科入試 第二次募集による選抜
志望専攻名	工学専攻
ふりがな	
氏名	
※受験番号	

【集合日時・場所】

令和7年11月1日（土）9:00
和歌山工業高等学校
玄関ホール

- 本票は大切に保管し、入学者選抜検査を受けるときに、必ず持参してください。
- 遅刻者、あるいは受験票を紛失した者は、検査本部で指示を受けてください。

取扱者印	※
------	---

※印欄は記入しないこと。

令和8年度
和歌山工業高等学校

入学検定料払込証明書

試験名	専攻科入試 第二次募集による選抜
志望専攻名	工学専攻
ふりがな	
氏名	
※受験番号	

「払込受付証明書」(受付金融機関の領収印を押したものを)を貼付してください。

※印欄は記入しないこと。

切り離さないでください。

専攻科入学志願者調査書

			受験番号		※	
志望専攻名	工学専攻		国・公・私	高等専門学校 科		
ふりがな				短期大学 科		
氏 名		男・女		専修学校 科		
				年 月 入学・編入学・転入学		
生年月日	平成 年 月 日生		年 月 卒業見込・卒業			
成 績 ・ 修得単位 証 明 書	出身校所定の用紙により、学校長 又は学長が作成したものを添付の 上厳封するものとする。(成績の評 定基準を右表に明記すること。)		評 定 基 準	評定の区分	点 数 の 範 囲	
					点～ 点	
					点～ 点	
					点～ 点	
					点～ 点	
					点以下	
卒業研究 題 目						
卒業研究 要 旨						
在学中の 学習及び 生活状況						
上記のとおり相違ないことを証明する。 令和 年 月 日 学 校 名 学校長・学長名						

記入上の注意

- 1 ※印欄は記入しないこと。
- 2 在学中の状況欄は、学習状況・人物・課外活動・生活態度等を記入すること。
- 3 電子ファイル（Microsoft Word）が必要な場合は、学生課（入試担当）まで問い合わせること。

受験番号	※
------	---

TOEICスコア報告書

志望専攻

工学専攻

氏 名

TOEICテスト「(財)国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会実施」において、下記のとおりスコアを取得していますので、報告します。

記

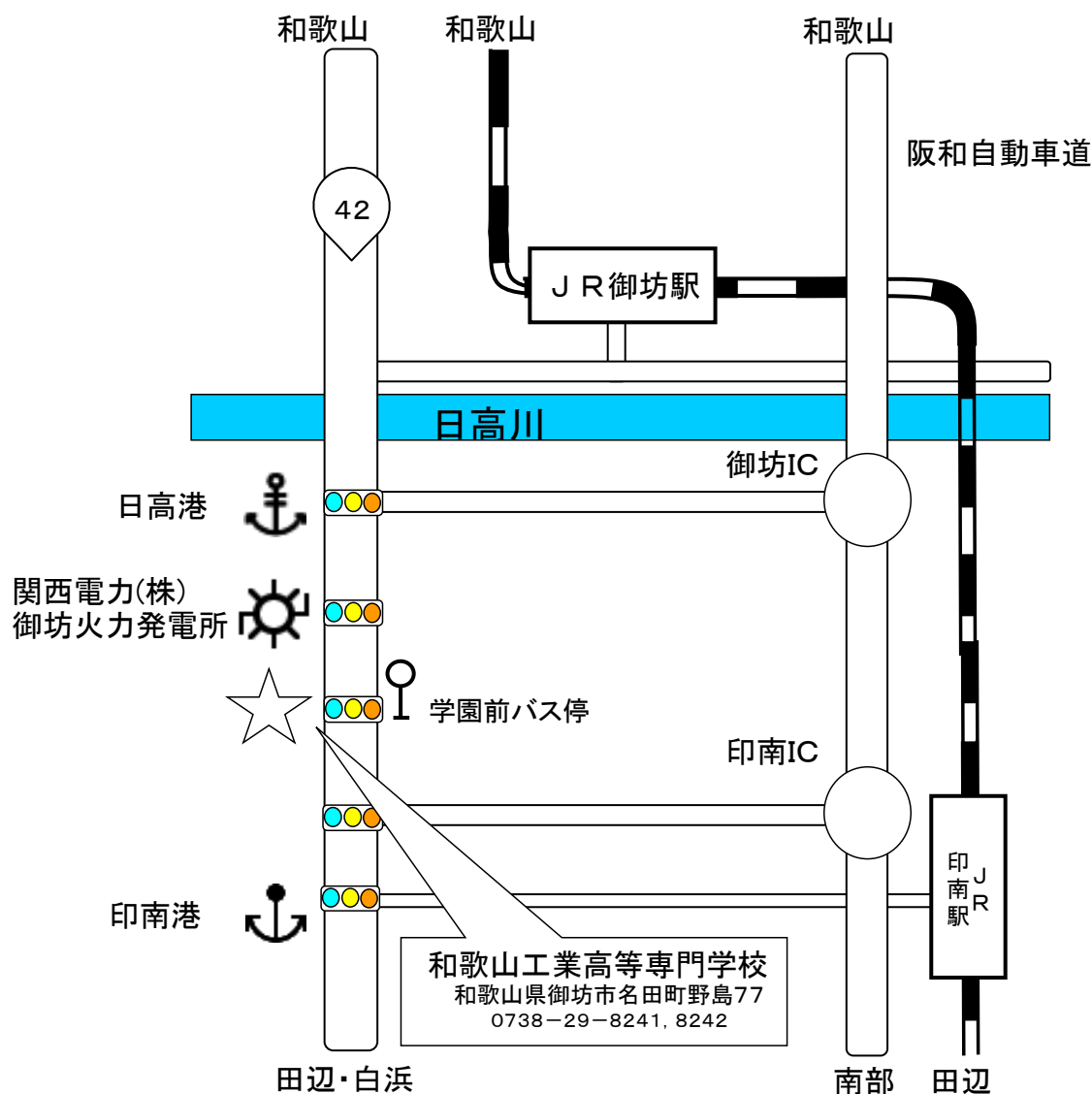
試験の種類	1. 公開テスト	2. IPテスト
試験日	年	月 日
取得スコア	点	

＊ 入学試験実施日を基準に、2年以内に取得した最高スコアを記入し、「公式認定証」または「個人成績表」のコピーを裏面に貼付してください。

＊ 入学試験当日に、「公式認定証」または「個人成績表」の原本（コピーではなく本証）を提示してください。（確認のうえ返却します。）

※印欄は、記入しないでください。

和歌山工業高等専門学校案内図



熊野御坊南海バス時刻表（抜粋）

（令和7年3月現在）

御坊駅	学園前	印南駅	学園前
8:05 →	8:26 ※	7:43 →	7:53
8:10 →	8:31 ※	8:50 →	9:00
8:15 →	8:36	10:20 →	10:30
9:40 →	10:01	12:00 →	12:10
11:20 →	11:41	13:25 →	13:35
12:50 →	13:11	14:35 →	14:45 ※
14:00 →	14:21 ※		
14:18 →	14:39		

学園前	御坊駅	学園前	印南駅
12:10 →	12:30	11:41 →	11:50
13:35 →	13:55	13:11 →	13:20
14:45 →	15:05 ※	14:21 →	14:30 ※
15:02 →	15:22	14:39 →	14:48
16:37 →	16:57	16:14 →	16:23
17:25 →	17:45	17:49 →	17:58
18:12 →	18:32		

※ は、平日のみ

交通案内

- JR「御坊駅」下車、駅前から熊野御坊南海バス「印南駅」行きに乗車し、「学園前」停留所で下車。（所要時間約20分）
JR御坊駅からタクシーを利用した場合は所要時間約15分。（御坊駅より本校まで約10km）
- JR「印南駅」下車、駅前から熊野御坊南海バス「御坊駅」行きに乗車し、「学園前」停留所で下車。（所要時間約10分）
JR印南駅からタクシーを利用した場合は所要時間約10分。（印南駅より本校まで約5km）